

明石工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	工作実習Ⅱ B	
科目基礎情報							
科目番号	0037			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	2		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	プリントを配布						
担当教員	加藤 隆弘						
到達目標							
(1) 手順書や指示に基づいて実習を実施できる。 (2) 機器・器具を正しく使用できる。 (3) 文書、口頭などによる報告ができる。 (4) グループで協力し実習を実施できる。 (5) 機械工学に関する基礎知識・技能が習得できる。 (a)溶接作業において、ガス溶接の基本知識、CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法を理解し、作業ができる。 (b)フライス盤作業によるエンドミル加工法と公差精度を理解し、基本加工的な加工ができる。 (c)旋盤作業において、嵌め合い方式、限界ゲージの使用法、転造ローレット加工法の基礎技術、穴あけ、中ぐり荒削り、中ぐり仕上げ削りなどの応用技術をにより製品の製作ができる。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	予め用意された手順書や指示に基づいて実習を十分に実施できる。			予め用意された手順書や指示に基づいて実習を実施できる。		予め用意された手順書や指示に基づいて実習を実施できない。	
評価項目2	機器・器具を十分に正しく使用できる。			機器・器具を正しく使用できる。		機器・器具を正しく使用できない。	
評価項目3	文書、口頭などによる報告が十分にできる。			文書、口頭などによる報告ができる。		文書、口頭などによる報告ができない。	
評価項目4	グループで協力し周りに促しながら実習を実施できる。			グループで協力し実習を実施できる。		グループで協力し実習を実施できない。	
評価項目5(a)	ガス溶接の基本知識、CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法を理解し、良好な作業ができる。			ガス溶接の基本知識、CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法を理解し、基本的な作業ができる。		ガス溶接の基本知識、CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法を理解し、作業ができない。	
評価項目5(b)	エンドミル加工法と公差精度を理解し、良好な製品を製作できる。			エンドミル加工法と公差精度を理解し、基本加工的な加工ができる。		エンドミル加工法と公差精度を理解し、基本加工的な加工ができない。	
評価項目5(c)	嵌め合い方式、限界ゲージの使用法を理解し、転造ローレット加工法、穴あけ、中ぐり荒削り、中ぐり仕上げ削りにより良好な製品の製作ができる。			嵌め合い方式、限界ゲージの使用法を理解し、転造ローレット加工法、穴あけ、中ぐり荒削り、中ぐり仕上げ削りにより製品の製作ができる。		嵌め合い方式、限界ゲージの使用法を理解し、転造ローレット加工法、穴あけ、中ぐり荒削り、中ぐり仕上げ削りにより製品の製作ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 (G)							
教育方法等							
概要	基本実習を深めるとともに、応用実習を行う。加工の理論と実際との有機的関連を通じて、基礎的技術を理解し、作業を合理的に行うための作業工程を考え、創造能力の育成を図る。						
授業の進め方・方法	実習工場にて基本実習を行う。 基本実習は6班に編成し各実習課題を巡回する。 さらに1回程度の工場見学により、生産方法の知識を深める。						
注意点	実習に当たっては、とかく製品の形状、体裁のみにとらわれたり、周囲の製作進度などが気にかかるが、常に目的を把握して正しい作業を心がけ、本質的なものをつかむように心がける。 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	溶接実習III-1 ガス溶接の基本知識、ビードの置き方、注意事項		ガス溶接の基本知識、ビードの置き方、注意事項などを理解し、作業方法を習得する。		
		2週	溶接実習III-2 ガス溶接の基本知識、ビードの置き方、注意事項		ガス溶接の基本知識、ビードの置き方、注意事項などを理解し、作業方法を習得する。		
		3週	溶接実習IV-1 CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法		CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法を理解し、作業方法を習得する。		
		4週	溶接実習IV-2 CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法		CO2・TIG溶接の原理、特徴、取扱い方法を理解し、作業方法を習得する。		
		5週	フライス実習II-1 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術		フライス盤作業によるエンドミル加工法と公差精度を理解し、基本加工技術を習得する。		
		6週	フライス実習II-2 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術		フライス盤作業によるエンドミル加工法と公差精度を理解し、基本加工技術を習得する。		
		7週	フライス実習II-3 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術		フライス盤作業によるエンドミル加工法と公差精度を理解し、基本加工技術を習得する。		
		8週	レポート作成		実習で習得した知識、技術を的確にまとめる。		
	4thQ	9週	フライス実習II-4 エンドミル加工法と公差精度などの基本加工技術		フライス盤作業によるエンドミル加工法と公差精度を理解し、基本加工技術を習得する。		
		10週	旋盤実習III-1 嵌め合い方式、限界ゲージの説明、転造ローレット加工法について		旋盤実習作業による、嵌め合い方式、限界ゲージ取扱方法、転造ローレット加工法について理解し、作業方法を習得する。		
		11週	旋盤実習III-2 嵌め合い方式、限界ゲージの説明、転造ローレット加工法		旋盤実習作業による、嵌め合い方式、限界ゲージ取扱方法、転造ローレット加工法について理解し、作業方法を習得する。		

		12週	旋盤実習IV-1 穴あけ, 中ぐり荒削り, 中ぐり仕上げ削	旋盤実習作業による, 穴あけ, 中ぐり荒削り, 中ぐり仕上げ削りなどの応用技術を習得する.
		13週	旋盤実習IV-2 穴あけ, 中ぐり荒削り, 中ぐり仕上げ削	旋盤実習作業による, 穴あけ, 中ぐり荒削り, 中ぐり仕上げ削りなどの応用技術を習得する.
		14週	工場見学	実習工場では得ることが出来ない知識や見識を広める.
		15週	レポート作成日	実習で習得した知識, 技術を的確にまとめる.
		16週	期末試験実施せず	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の工学実験・実習能力	機械系分野【実験・実習能力】	機械系【実験実習】	実験・実習の目標と心構えを理解し、実践できる。	4	
				災害防止と安全確保のためにすべきことを理解し、実践できる。	4	
				レポートの作成の仕方を理解し、実践できる。	4	
				ノギスの各部の名称、構造、目盛りの読み方、使い方を理解し、計測できる。	4	
				マイクロメータの各部の名称、構造、目盛りの読み方、使い方を理解し、計測できる。	4	
				ダイヤルゲージ、ハイトゲージ、デプスゲージなどの使い方を理解し、計測できる。	4	
				アーク溶接の原理を理解し、アーク溶接機、アーク溶接器具、アーク溶接棒の扱い方を理解し、実践できる。	4	
				アーク溶接の基本作業ができる。	4	
				旋盤主要部の構造と機能を説明できる。	4	
				旋盤の基本操作を習得し、外丸削り、端面削り、段付削り、ねじ切り、テーパ削り、穴あけ、中ぐりなどの作業ができる。	4	
				フライス盤主要部の構造と機能を説明できる。	4	
				フライス盤の基本操作を習得し、平面削りや側面削りなどの作業ができる。	4	
				ボール盤の基本操作を習得し、穴あけなどの作業ができる。	4	

評価割合

	レポート	作品	態度	合計
総合評価割合	60	20	20	100
基礎的能力	0	0	0	0
専門的能力	60	20	20	100
分野横断的能力	0	0	0	0